

WebSphere® Process Server for Multiplatforms



バージョン 6.2

クイック・スタート・ガイド

IBM® WebSphere® Process Server のインストールおよび構成を始めるときに参照していただくガイドです。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート CD にある PDF ファイルにアクセスしてください。

製品の概要

WebSphere Process Server は、次世代のビジネス・プロセス統合サーバーであり、実績のあるビジネス・インテグレーション概念、アプリケーション・サーバー・テクノロジー、および最新のオープン・スタンダードを基に進化した製品です。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび文書の入手



製品をパスポート・アドバンテージからダウンロードする場合は、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&uid=swg24020614>

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- クイック・スタート CD
- WebSphere Process Server 6.2 (IBM Message Service Client for .NET 1.2.6、IBM Message Service Client for C/C++ 1.2.7、IBM Installation Factory for WebSphere Process Server、IBM Update Installer for WebSphere Software、および IBM User Interface Help System Built on Eclipse 3.1.1 を含む)
- WebSphere Application Server Network Deployment 6.1 (IBM HTTP Server 6.1、Web サーバー・プラグイン 6.1、Application Server クライアント 6.1、Application Server Toolkit 6.1.1、Edge Components 6.1、および IBM Rational® Agent Controller 6.1.5 を含む)
- DB2® Restricted Enterprise Server Edition 9.5
- IBM Tivoli® Directory Server 6.0
- IBM Tivoli Access Manager for e-Business 6.0
- WebSphere Partner Gateway Advanced Edition 6.2

一部のコンポーネントはオプションです。ご使用のプラットフォームに対して提供されるコンポーネントの完全なリストについては、WebSphere Process Server の資料の『WebSphere Process Server のパッケージ化 (Packaging for WebSphere Process Server)』を参照してください (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/dmndhelp/v6r2mx/topic/com.ibm.websphere.wps.620.doc/doc/cins_packaging.html)。

インストール手順などの文書一式については、WebSphere Process Server インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library>) を参照してください。

2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



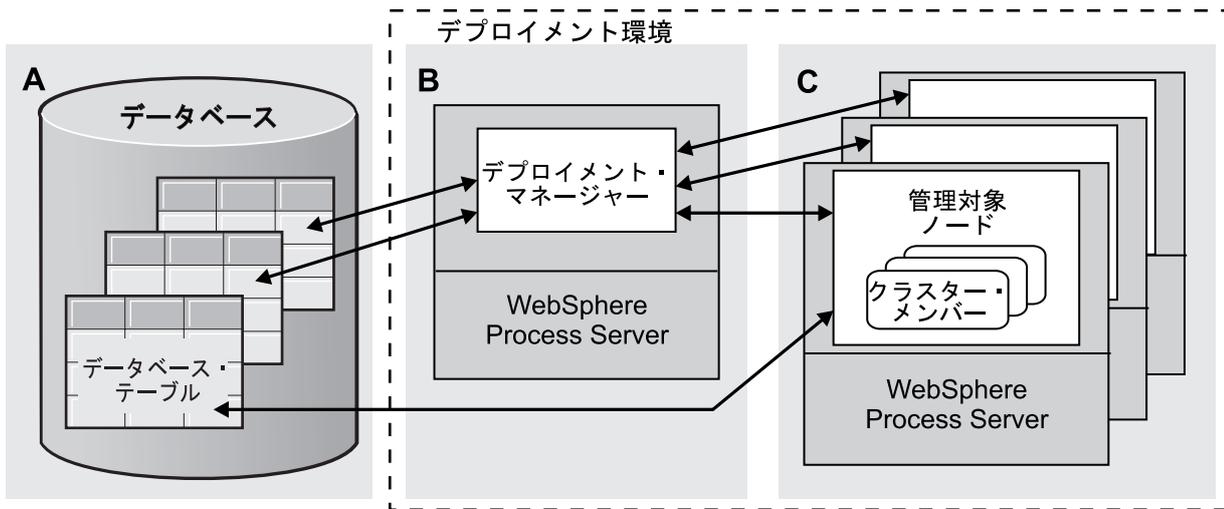
WebSphere Process Server は、さまざまな構成で使用可能です。実動システムをインストールする前に、ご使用のデプロイメント環境を計画してください。インフォメーション・センターの、『WebSphere Process Server の計画 (Planning for WebSphere Process Server)』を参照してください。WebSphere Process Server 製品のライセンスを検討して、トポロジーをサポートするために十分な数の許可があることを確認し、製品に含まれるすべてのソフトウェア・コンポーネントの使用制限について理解してください。

システム要件の詳細については、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&context=SSQH9M&uid=swg27013441> を参照してください。

3 ステップ 3: 基本アーキテクチャーとインストール・ステップの確認



この例では、複数のホストを持つデプロイメント環境を示します。本セクションの図は、システムのトポロジーおよび構成の一例を示しています。デプロイメント・マネージャーは 1 つのホスト上に配置されています。その他の各ホスト上には、サーバー、すなわち「クラスター・メンバー」を含む管理対象ノードが 1 つずつあります。データベースとすべてのホストとの間で、データ交換が発生します。



以下の説明は、上記デプロイメント環境のインストール方法の要約です。インストールの詳細な説明については、インフォメーション・センターの『WebSphere Process Server のインストールおよび構成』を参照してください。

- A.** データベースを作成します。Apache Derby ソフトウェアが WebSphere Process Server と共にインストールされ、デプロイメント環境インストール時に Derby Network Server がデフォルト・データベースとして選択されます。あるいは、DB2 Restricted Enterprise Server Edition 9.5 (この製品オファリングに含まれる) などの他のデータベース製品をインストールすることもできます。また、既にインストール済みのデータベース製品を使用することもできます。
- B.** デプロイメント・マネージャーを作成するホストで、ルート・ディレクトリまたは電子イメージを解凍した場所からランチパッド・ファイルを開始します。ランチパッドからインストール・ウィザードを開始し、「**デプロイメント環境インストール**」を選択します。インストール・ウィザードのパネルに従い、オプション「**デプロイメント・マネージャーを作成し、デプロイメント環境パターンを選択する (Create a deployment manager and select a deployment environment pattern)**」を選択します。インストール・ウィザードに従って、手順 2 で決定したデプロイメント環境パターンを選択するように設定します。データベースに Derby Network Server 製品を使用する場合は、Derby Network Server を開始します。次に、デプロイメント・マネージャーを開始します。
- C.** その他の各ホストでインストール・ウィザードを開始し、インストール・タイプとして「**デプロイメント環境インストール**」を選択します。インストール・ウィザードのパネルに従い、オプション「**カスタム・プロファイルを作成し、デプロイメント環境内のクラスター・メンバーを選択する (Create a custom profile and choose the cluster members within the deployment environment)**」を選択します。デプロイメント・マネージャーで使ったパターンに基づいて、クラスターを構成してください。

デプロイメント・マネージャー上で管理コンソールを開始し、「サーバー」>「デプロイメント環境」をクリックします。

その他の情報



その他のテクニカル・リソースについては、以下のリンクを参照してください。

- IBM Education Assistant <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/ieduasst/v1r1m0/>
- WebSphere Application Server の資料 <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v6r1>

